

# 令和元年度 第1回 日進市環境まちづくり評価委員会 議事録

- 日 時 令和元年10月2日(水)  
午後6時から午後8時まで
- 会 場 市役所本庁舎4階 第1会議室
- 出席委員 森下英治(会長)、原理史(副会長)、伊藤佳世(委員)、小林敬幸(委員)  
島田知彦(委員)、武田美恵(委員)、谷口功(委員)
- 事務局 牧智彦(市民生活部長)、加藤慎司(環境課長)、石川博之(環境課主幹)、片岡麻里(環境課環境政策・ESD推進係長)、松田涼輔(環境課環境政策・ESD推進係主事)
- 傍聴者 3名
- 内容
  - 事務局開会を宣す
  - 出席委員の確認 7名中7名の出席。日進市環境まちづくり評価委員会要綱第3条の成立要件を満たしていることを確認。

## 議題

### 1 令和元年度版日進市環境基本計画年次報告書について

会 長：ただ今から令和元年度第1回日進市環境まちづくり評価委員会を開催します。

それでは、令和元年度版日進市環境基本計画年次報告書について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

会 長：年次報告書について何か質問やご意見はありますか。

委 員：4ページの表と、それ以外の表ですが、年度の並びが逆になっており違和感がありますので統一すべきではないか。

事務局：修正します。

委 員：親水公園やまちなみ保存地区などのいくつかの項目で、指標が0から動いていない状況が見受けられる。今後の計画期間の中で、取り組む予定があるかどうか伺いたい。

事務局：今の段階ではそれらの具体的な計画はありません。

委 員：具体的な計画のない項目をどう扱っていくかを考えていなくてよいか。

委 員：検討すらされていない項目は、検討すべきではないか。

委 員：事務局から、担当部署へ環境基本計画にこういった項目があるということを、あらためて投げかけてみていただきたい。

事務局：わかりました。

委 員：環境課の所管部分でも、過剰包装に関する取り組みの部分が、昨年度から未実施が続いています。そろそろ次の計画改訂に向けて、未実施部分の項目をどう取り扱うか検

討していかななくてはならないと思います。

委員：年次報告とやわらか版で、年号が西暦と和暦で異なっている部分があるので統一したほうがよいと思います。

事務局：修正します。

委員：年次報告書5ページの顔マーク部分の説明ですが、基準値が目標値に近づくのではなく、現状値が近づくと思いますので修正が必要だと思います。

委員：同じ部分に関して、短期目標値と長期目標値を並べて記載しているため、両方が達成されている必要があるように思えてしまいます。長期目標という言葉を消したほうがよいと思います。

事務局：修正します。

委員：学校給食における地場産物の使用率が低下している原因はなんですか。

事務局：献立の予算内で、なるべく地場産物を仕入れるよう心掛けているものの使用率が下がってしまっていると聞いています。

委員：予算の制約があり、供給量が限定的で割高のため購入量に限度があるということですね。

委員：里山保全条例や緑化条例、景観基本計画など都市計画課所管の項目について、例年検討するとなっていて進んでいるのか伝わってこない。景観基本計画は、自治体によっては環境課が所管している所もあります。環境施策の課として本当に必要であると考えるのであれば、都市計画課から事業を移管することも検討する必要があると思います。

次期の総合計画策定を機に、整理したほうがよいと思います。

会長：すべて環境課で、ということも難しいかと思います。ただ、市民の話し合いで計画が作られたときに、必要であると判断されて盛り込まれていると思いますので、移管まではしなくても市全体で動くような体制が大切だと思います。

委員：公害対策に関する満足度を見ると、指標は低下しています。その一方、進行管理指標を見ると取り組み事体は行われていて目標を達成しているものが多いです。実際の施策と満足度との乖離が気になります。

委員：私もその点は気になっておりました。満足度があがるはっきりとした理由は分からないので一概には言えませんが、私の仮説では進行管理指標は達成されているのに満足度があがらないのは、関心を持つ人が増えたということがあるかもしれません。一方で、身近に緑にふれあえる場所があると思う市民の割合は指標が上昇しており、こちらも関心を持つ人が増えたから指標が上昇したという考え方ができます。この2つの仮説の整合性もとれているように思います。

委員：満足度の指標と、施策部分の指標との関係性を、次の計画改訂に向けて考えていかななくてはいけないと思います。

委員：満足度という指標がふさわしいのかも考えていく必要があるかもしれません。

委員：大まかに市民の本音が出るという意味では満足度もよいと思います。

委員：浄化槽転用補助数に関して、補助を続けていけば数は低下していくと思いますが、件数がほぼ変わっていないことに違和感があります。

事務局：補助数は延べ数を計上しています。

委員：まちなみ保存地区の指標は過去からずっと0が続いていますが、想定している場所がありますか。

事務局：都市計画課に確認します。

副会長：この指標に限らず、過去に計画を作った際に入れられた指標で、年が経つごとに意味合いが薄れてきている指標があると思います。今後、計画の改訂に向けて、本当に必要な指標かどうかを話し合っていく必要があると思います。

委員：野焼きの件数ですが、これは苦情件数ですか、場所の件数ですか。

事務局：苦情件数です。

委員：件数はかなり減ったということが見て取れますが、苦情が減ったのか、実際に野焼き件数が減ったのか分かるような表記を検討していただきたいです。言ってもしょうがないという諦めで苦情件数が減っている可能性もあると思います。

事務局：苦情があった場合は、現場へ向かい、野焼きを行っている人に合うことができたならその場で消していただくようにしております。

委員：「学び」に目を向けると、子ども対象の講座などは多いように感じますが、実際にごみを捨てたりする社会人の層にどうアプローチをするかが大事だと思います。実際に学んだ内容は、日々の生活の指標に影響がでてくると思います。具体的取り組みの中にホームページの開設とコンテンツの充実という部分がありますが、どんな内容の情報を発信しているのか、詳しく記載したほうがよいと思います。

事務局：現在、ESDの観点からどの層への発信が弱いかなど、把握を進めている段階です。そういった視点をもって進めていきます。

会長：それでは、やわらか版についての議論に移ります。ご意見のある方はいますか。

委員：「環境共育」の漢字表記は日進独自ですか。

事務局：そうです。計画策定のときから、共育を使用しております。

委員：日進市の計画の指標部分についてはそれでよいと思いますが、ESD（持続可能な開発のための教育）を表記する場合の教育は、通常表記の「教育」のほうがよいと思います。

事務局：「環境共育（ESD）」を「環境共育・ESD」に修正します。

委員：SDGsのロゴを使っていますが、1つの分野に1つしかアイコンが入っていません。複数のアイコンが絡む分野は多いと思いますので、スペースの問題はあると思いますが、複数掲載したほうがよいと思います。

委員：SDGsについての説明が必要ではないですか。

事務局：表紙の17のアイコンが載っている部分に追加で記載します。

委員：表紙の左上に12番のアイコンが大きく掲載されていますが、これでは「やわらか版」そのものが12番のアイコンだと捉えられてしまいそうです。表現方法の工夫が必要だと思います。

事務局：表現方法を修正します。

委員：SDGsに関して、愛知県でもいくつかの自治体がSDGsの取り組み（SDGs未来都市など）に手をあげていましたが、日進市が手を上げなかった理由はなにかありますか。

事務局：環境課としては取り組んでいきたいとは考えていますが、SDGsは環境分野だけではなく市全体の話であり、市全体ではまだそこまでの気運が高まっていないという現状があります。策定中である次期の総合計画にはSDGsに関しての記載があるかもしれません。

委員：他の自治体でも、SDGsについて環境部局が主張していても調整部局で潰れてしまうという話はよく聞きます。環境課としては強く言う必要があると思います。

事務局：現在、庁内の職員に対してESD、SDGsを普及啓発する取り組みを行っています。まだ環境課と他の課で温度差があることが現状です。

委員：企業誘致という話になると、今はSDGsの話が絡んでくる場合が多いと思います。

委員：青年会議所がSDGsについて取り組んでいると聞きますが、市とのつながりはありますか。

事務局：産業振興課とつながりはあるかもしれませんが、環境課としてはございません。

会長：SDGsへの取り組みを答申には載せるとしても、内容については検討が必要ですね。

委員：9ページの「何をしたの？」の部分ですが、猫の糞尿について記載は、年次報告書の実績にその記載がありません。やわらか版のほうには、猫の糞尿についての話ではなく、もっと楽しい話を掲載してはいかがでしょうか。

委員：この話を選んだ理由はありますか。

事務局：平成30年度に新しく始めた取り組みですので、記載させていただきました。

委員：せっかく平成30年度から始めた事業ですので、記載自体はあってもよいと思います。実施実績の記載と整合性がとれていないことが問題なので、年次報告書の実績にこの内容を盛り込めばよいと思います。

事務局：内容を修正します。

委員：短期目標は平成30年度までだと思いますので、ここまでの取り組みについて総括のような記載が必要な気がします。

事務局：やわらか版3ページの「今は、計画のどのあたり？」が記載されている部分に平成30年度までの取り組みの総括を追加で記載します。

会長：紙面上厳しいようであれば、その下の「環境基本計画って何だろう？」が毎年同じ記載なので、削ってもよいかもしれません。

委員：12ページのコミュニティの説明の書き出し部分ですが、「一見何の関係もないように思えるかもしれませんが」という記載がありますが、この表現を変えて、もっと直接的な表現にしてもよいと思います。また、14ページの遊びと学びについての説明部分は、SDGsアイコンやイベント写真を使って、つながりをわかり易く表記したほうがよいと思います。

事務局：表現内容を修正します。

委員：やわらか版をどのように活用しているのか気になります。環境学習の場で、ぜひ活用して欲しいと思います。

委員：環境学習施設を持っている自治体がありますが、他市町との連携でも構わないので、環境の拠点をもつことを検討してみたいと思います。

委員：過去にエコドームが少し環境の展示に使われていたような記憶がありますが、今はどうなっていますか。

事務局：現在は、ESDの拠点施設としてSDGsアイコンを掲載したり、ESD・SDGsのパンフレットを設置しております。

委員：施設を運営する団体というものがあるべきだと思います。そういった提案をそろそろ行ってもよいと思います。

委員：森林面積について記載がある部分で、「木祖村分収造林事業」という言葉が難しく分からない人が多いと思います。

委員：日進平成の森と表記し、内容について記載したほうがよいと思います。

事務局：ページ右端のコラム部分を日進平成の森に変更し、説明を記載します。

委員：各課のそれぞれの取り組みについて、SDGsとどのように関わっているかをそれぞれ考えてもらい、記載してみたいかですか。

副会長：なかなかすぐにとということも難しいと思いますので、総合計画との絡みも含めて検討をしていっていただきたいと思います。

会長：来年の報告書には記載ができるといいですね。

会長：他に意見はありませんか。

会長：パブリックコメント後は、軽微な意見にとどまるようであれば会長・副会長の判断で修正しますが、大きく変更が必要な意見が出た場合は再び委員会を開催することになりますが、いつ頃になりますか。

事務局：パブリックコメントを11月中旬から12月中旬で予定しておりますので、12月下旬頃になるかと思われます。

会長：日程調整を事務局でお願いします。

事務局：わかりました。

会長：これで令和元年度第1回日進市環境まちづくり評価委員会を閉会します。

事務局 閉会を宣す（20時00分）